

	市長	副市長	部長	次長	課長	主幹	技師
供 覧							

受理 しましたので報告します。 ※回答は求められておりません。

狭山市長 小谷野 剛 殿

都市建設部長 堀 川 豊 殿

平成 30 年 2 月 5 日

入曽駅周辺整備事業に係る要望事項

入曽南地区五自治会連絡協議会

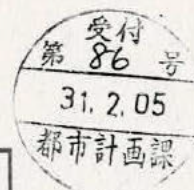
東急台自治会長

みよし自治会長

むつみ自治会長

松風自治会長

フラワーヒル狭山自治会長



この写しは、狭山市情報公開条例に基づき作成したものです。

私共「入曽南地区五自治会連絡競技会」は入曽地区南東部にある五自治会の自治会長で構成している連絡協議会で、各自治会共通の話題や各自治会員の要望等について協議し、必要あれば自治会連合会や市に対し要望として意見具申することを目的として活動しております。市長及び市役所の皆様には、平素は自治会運営に関して一方ならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、定例の協議会を開催いたしましたところ、各自治会の会員から入曽駅周辺整備事業に関して大きな期待を寄せているものの、今回提示された計画に関して変更や改善を期待する意見が出されていることが改めて浮き彫りとなりました。その多くは地域説明会やパブリックコメント等に寄せられた意見と重複する意見ですが、会員より強く示された要望は以下の3点に集約することができます。

ついては、実行計画策定段階において検討課題に加えていただき、整備事業実施時に御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

要望1 入曽駅現状改札口を存続させてほしい。

現在の計画では、西武鉄道の改札口は橋上に統一され、現行の東西にある改札口は閉鎖されるとのことですが、説明会やパブリックコメントでも存続に関して多くの意見が寄せられているように、当連絡協議会参加自治会の会員からも存続に関して強い要望が寄せられています。その理由は主に以下の2点に集約されます。

- ① 橋上改札に統一されることとなると、高齢者・障害者にとってホームへのアクセスが不便となり、電車への乗降について現状と比較して多くの時間を費やすこととなると想定される。
- ② 入曽駅より南部の住民にとって駅前ロータリーの開設や旧入間小学校跡地への商業施設誘致により県道50号線の月見野交差点手前より入曽交差点まで混雑が見込まれ、駅ロータリーへの到着まで時間がかかると想定される。一方、現在の駅前通りを利用すると現行改札が閉鎖された場合、改札口まで大回りとなる。

この写しは、狭山市情報公開条例に基づき作成したものです。

要望2 駅周辺の道路の混雑解消対策（県道と東口ロータリーのアクセス）

前項②にても指摘したとおり、県道50号線の入曽駅入り口交差点（市道B296号線との交差点）を中心に入曽交差点と月見野交差点の間が相当に混雑すると想定されるので、拡幅や歩道整備等歩行者や交通弱者を保護するような対応策の整備をお願いします。

さらに、西武線と並行する駅前通りの交通対策については、現状でも車・自転車・歩行者が輻輳し、特に電車到着時には通行に関し非常に危険な状況が続いていますが、再開発に当たって入間小跡地に商業施設が開業した場合は、更なる混雑が予測されます。については拡幅等の具体的な改善策が困難である場合には一方通行指定などの対策の策定を期待します。

要望3 現状の西武バス折り返し点の有効利用

埼玉りそな銀行のCDコーナーの向かいに、西武バスの折り返し場がありますが、駅前にロータリーができて、バス折り返し場が設定されると、現在の折り返し場は不要となると想定されます。については、西武鉄道と連携し地域活性化のための有効利用（具体的には駐輪場の整備や中小商業施設の誘致等の検討など）の策定を期待します。

入曽駅周辺整備事業に係らず、土地再開発に係る計画は一度動き出した後での変更・改定は困難なものと想定されます。最終案決定以前に十分に住民との意思疎通を行い、よりよい具体策を策定していただくよう期待します。

以上

この写しは、狭山市情報公開条例に基づき作成したものです。